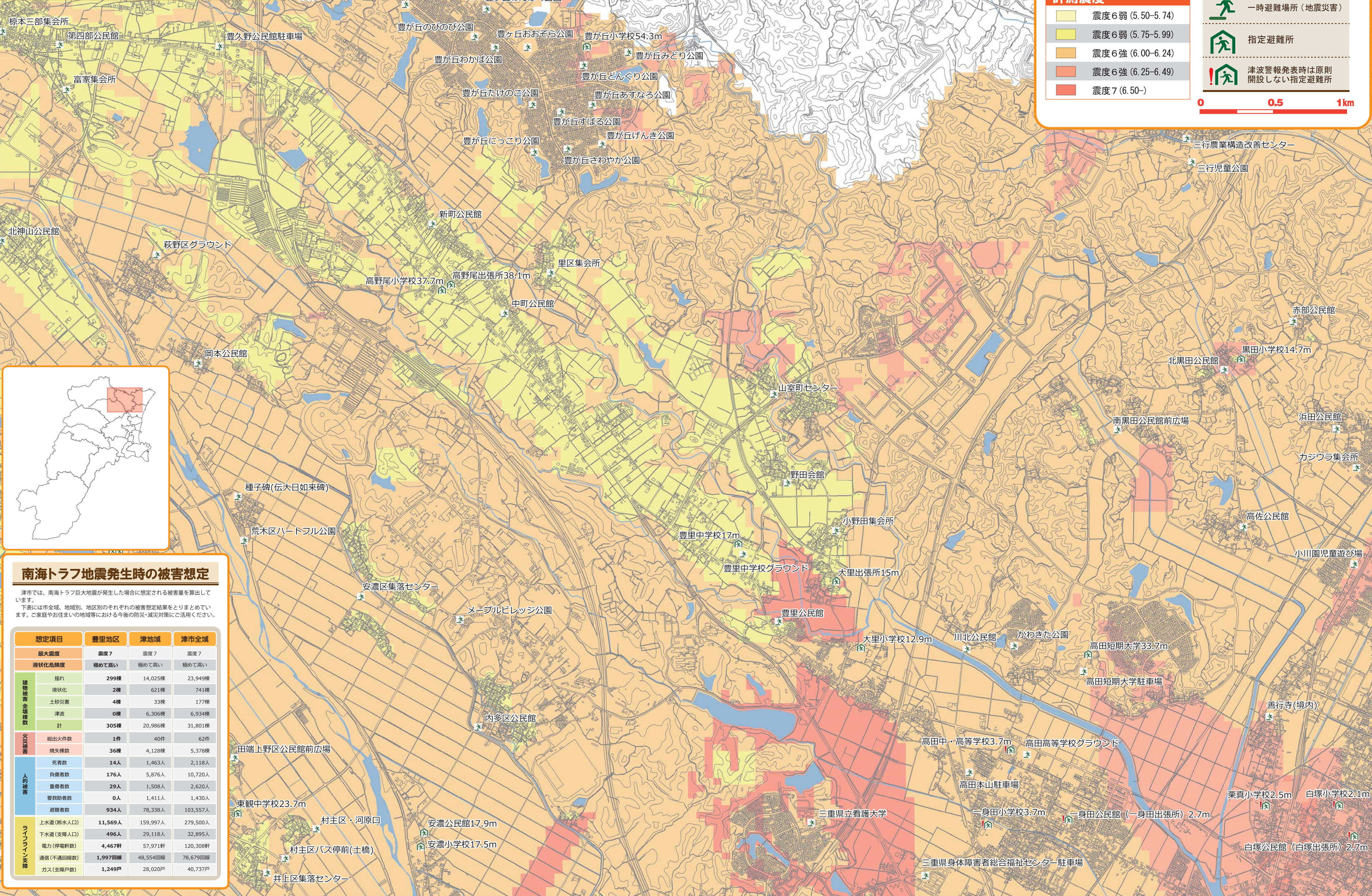


豊里地区
【大里・高野尾・豊が丘地区】



南海トラフ地震発生時の被害想定

津市では、南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定される被害量を算出しています。下表には市全域、地域別、地区別のそれぞれの被害想定結果をとりまとめています。ご家庭やお住まいの地域等における今後の防災・減災対策にご活用ください。

想定項目	豊里地区	津地域	津市全域
最大震度	震度7	震度7	震度7
液化化危険度	極めて高い	極めて高い	極めて高い
建物被害(全壊数)	299棟	14,025棟	23,949棟
建物被害(半壊数)	2棟	621棟	741棟
土砂災害	4棟	33棟	177棟
津波	0棟	6,306棟	6,934棟
計	305棟	20,986棟	31,801棟
火災被害	1件	40件	62件
火災被害(死者数)	36人	4,128人	5,378人
死者数	14人	1,463人	2,118人
負傷者数	176人	5,876人	10,720人
避難者数	29人	1,508人	2,620人
避難施設数	0人	1,411人	1,430人
避難者数	934人	78,338人	103,557人
上水道(排水人口)	11,569人	159,997人	279,500人
下水道(排水人口)	496人	29,118人	32,895人
電力(停電戸数)	4,467戸	57,971戸	120,308戸
通信(不通回線数)	1,997回線	48,554回線	78,679回線
ガス(支障戸数)	1,249戸	28,020戸	40,737戸

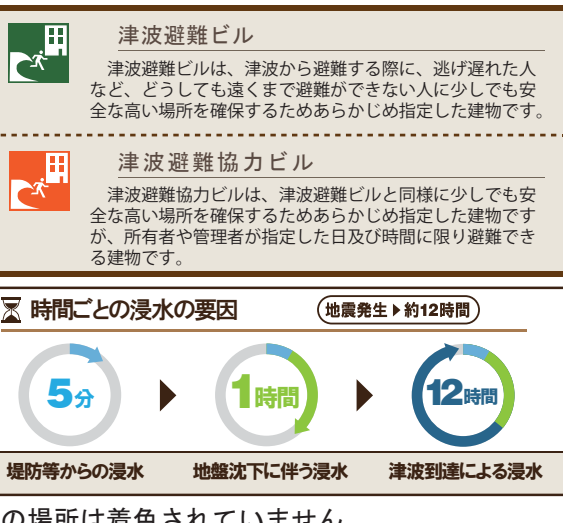
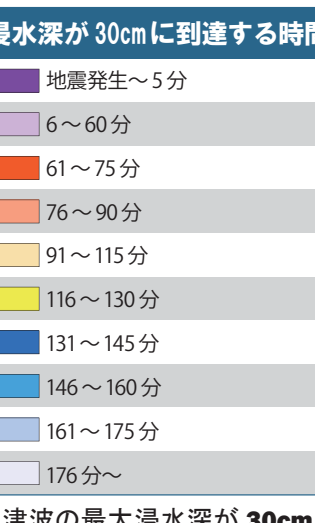
津波浸水深マップ



津波避難の
ところえ

- 「避難は徒歩が原則」
家屋の倒壊や落下物などにより、自動車ではスムーズに避難できない可能性がります。また、渋滞や交通事故のおそれがあるため、歩いて避難しましょう。
- 「想定にとらわれない」
想定以上の災害が起きることもあります。想定にとらわれず、その時の状況を見極めることが大切です。
- 「率先して避難する」
勇気を出して率先して避難すれば、その姿を見て周りの人も避難するようになり、多くの人の命を救うことができます。
- 「最善を尽くす」
自分は大丈夫、ことまでくれば大丈夫ではなく、その時できる最善の行動をとりましょう。
- 「地域での協力が大切」
お年寄りや体の不自由な方に声をかけて、一緒に避難するなど、ご近所でお助け合しましょう。
- 「河川に近づかない」
潮が引いていても、津波は河川を遡ってやってくる。避難するときは、河川から離れる方向に避難をしましょう。
- 「逃げ遅れたら、津波避難ビルへ」
いざというときに、どうしても逃くまで避難ができない場合は、「津波避難ビル」または「津波避難協力ビル」に避難してください。

津波浸水時間マップ
【30cm津波浸水時間】



※津波の最大浸水深が30cm未満の場所は着色されていません。